

研究課題名	回復期病棟における薬剤師介入の有用性に関する調査研究
倫理委員会承認番号	254
当院の研究責任者（所属）	荻原 好章（診療技術部薬剤課）
他の研究機関および各施設の 研究責任者	藤原 久登（日本病院薬剤師会 学術第8小委員会）
本研究の目的	病院薬剤師に対してアンケート調査を実施し、回復期リハビリテーション病棟における病院薬剤師の有用性を明らかにする。 病院薬剤師の役割を明確にし、回復期リハビリテーション病棟に従事する薬剤師の業務手引きを検討する礎とする。
調査データの該当期間	2022年10月1日～10月31日（1ヶ月間）
研究の方法（対象者）	回復期リハビリテーション病棟から退院した脳血管障害患者および運動器疾患患者。
研究の方法（使用する情報）	年齢・性別・疾患名・既往歴・服用薬剤・副作用の有無・身長、体重、血液検査値・入院時および退院時のADL（日常生活動作）を数値化したデータ（FIM値）・入院日数（入院日、退院日）・入院中の転倒の有無・入院中のイベント（急変や死亡など）・退院先（自宅、施設等）・医療スタッフの介入内容
試料／情報の他機関への提供	あり（日本病院薬剤師会 学術第8小委員会）
個人情報の取り扱い	個人情報の取り扱いには細心の注意を払い、研究以外の目的でこれらの情報を用いることはない。 また得られた結果は、個人が特定できないような形で学会や論文等での公開を予定している。
本研究の資金源（利益相反）	なし
備考	